清水寺

吉岡 美乃莉
（2020 年入学　4 期生）

私は今回のテーマに清水寺を選んだのは、私が行った京都の神社仏閣で一番人が多く感じたからである。私が訪れたのは平日の夕方であったが、清水寺へ向かう道も店も外国の観光客が多くいた。京都府がだしている「府内観光地入込客数ランキング」では京都市内ベスト 10 で令和 3 年、4 年と 1 位と書かれている。

今回のレポートでは清水寺の歴史や、人気の観光スポットを紹介する。

歴史

清水寺は、音羽山清水寺が正式名称であり、開創は 778 年。京都の東、音羽山の中腹に広がる 13 万平方メートルの境内には、国宝と重要文化財を含む 30 以上の伽藍や碑が建ち並ぶ。創建以来、10 度を超える大火災にあいそのたびに堂塔を焼失したが、篤い信仰によって何度も再建された。現在の伽藍はそのほとんどが 1633 年に再建されたもので。1994 年にはユネスコ世界文化遺産「古都京都の文化財」のひとつとして登録された。清水寺の始まりを記した『清水寺縁起』によると、奈良で修行を積んだ僧、賢心が夢で「北へ清泉を求めて行け」とお告げを受けたことが清水寺の始まりだとされている。賢心は霊夢に従って北へと歩き、音羽山で清らかな水が湧出する瀧を見つける。そして、この瀧のほとりで草庵をむすび修行をする老仙人、行叡居士と出会った。行叡居士は賢心に観音力を込めたという霊木を授け「あなたが来るのを待ち続けていた。どうかこの霊木で千手観音像を彫刻し、この観音霊地を守ってくれ」と言い残して姿を消したという。賢心は「行叡居士は観音の化身だ」と悟り、以後、音羽山の草庵と観音霊地を守りました。賢心が見つけた清泉は、その後「音羽の瀧」と呼ばれ、現在も清らかな水が湧き続けている。

観光スポット

清水寺には数ある建造物のなかでは、桧舞台がもっとも有名だ。410 枚余りもの桧板が張られた床面積は約 190 平方メートル。崖下の礎石からは約 13 メートルの高さがあり、4 階建てのビルに相当する。日本では、晴れの場所に登場することを「桧舞台を踏む」という表現するなど。この舞台は特別な法会などの際に観音さまに芸能を奉納するための場所である。

次に挙げるのは二年坂だ。高台寺から清水寺へと向かう参道の一部で京都らしい町並みが続く緩やかな坂道だ。道の両端には京都らしいお店が軒を連ねており、ショッピングスポットして人気が高い。二寧坂という名の由来は三年坂の下にあるためだ。三年坂の由来は子供の安産＝産、そして念じる＝念からだといわれている。

また、二年坂付近には八坂の塔が建っている。八坂の塔は法観寺にある五重塔のことだ。五重塔の高さは約 49 メートル。五重塔は京都・東寺の五重塔、奈良・興福寺の五重塔に次ぐ、日本国内で 3 番目に高い五重塔だ。

また、知覚には八坂庚申堂が建っており、シンボルともいえるのがカラフルなくくり猿がある。 手足を縛られた状態の猿を形どったお守りのことで、それらと共に写真を撮る観光客も多い。

以上のように、清水寺では本堂以外にも人気のスポットが多くあり、観光の名所となっている。

私が清水寺を訪れた時、外国人観光客の多さに驚いた。日本の歴史を感じる建物を見る為だと思ったが、それ以上に訪れ安さが影響しているようにも感じた。二年坂にある飲食店では日本語のメニュー以外にも外国語のメニューを用意していた。また、店員が観光客に英語で対応している場面を何度か目撃した。このような対応が観光客の、訪れ易さにつながるのだろう。また、阪急河原町駅からも近いことが、観光客の足を運ばせているのではないだろうか。

今回のレポートでわかったことは、清水寺付近は長い歴史を持つこと。名所が近いことで観光客が寄り集まり、歴史を感じながらも観光客に向けて政策を行っていることがわかった。改めて清水寺のことが好きになった。

【参照】

https://www.pref.kyoto.jp/kanko/documents/1317300144762.pdf
https://www.kiyomizudera.or.jp/history.php
https://www.pref.kyoto.jp/isan/kiyomizu.html